

2015 年度第 3 回執行理事会議事録

期 日：2015 年 9 月 5 日（土） 13:00-17:00

場 所：地質学会事務局

出席者：井龍会長 山本副会長 渡部副会長 齋藤常務理事 ウォリス 緒方 杉田 竹内
中澤 平田 保柳 星 松田

（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：海野 坂口 廣木 山路

*定足数（12，委任状含む）に対し，出席者 14 名，委任状 3 名，合計 17 名の出席。

*前回議事録の承認

I 審議事項

1. 教科書の質向上に向けたプロジェクトについて（星理事）
 - ・会長が設置したプロジェクトであることを確認。
 - ・高校「地学」（4 単位科目）の教科書検討メンバーは次の 7 名：伊藤 孝，生形貴男，中村教博，久田健一郎，廣木義久（取りまとめ），星 博幸，三宅 明。
 - ・9 月中に役割分担，作業スケジュール等を確認し，教科書レビューに入る（11 月初旬まで）。11 月中にレビュー結果の集約，表現調整等を行い，意見書（案）を作成。それを 12 月開催の執行理事会および理事会に提出し，承認が得られたら意見書を教科書出版社に年内に送付する。
 - ・高校「地学」教科書を持っていないメンバーには学会が教科書を用意する。事務局にも教科書を常備する（地学，地学基礎）。
2. 共催名義使用規則作成（緒方理事）

共催・協賛および後援等の申請についての規則（案）を検討した。承認基準等の記述を整理した修正案を次回の執行理事会で再検討する。
3. 「海洋底調査の基本」の出版に関する件
『一般社団法人日本地質学会「海洋底調査の基本」^[1] 編集代表者・安間 了』として共立出版と契約する。出版前に対応する部会に回覧することを想定しているが，詳細は今後詰める。印税は著者と学会の折半とし，共立出版からそれぞれに支払うものとする。
4. 10 日理事会議事次第の確認
報告事項等を追加した。

II 報告事項

1. 全体的報告
 - 1) 日本学術会議地球惑星科学委員会よりの第 23 期「学術の大型研究計画に関するマスタープラン」策定にあたってのアンケートに回答した。連合から，地球惑星科学委員会企画分科会および大型研究計画検討ワーキンググループで取りまとめ，学術の大型研究計画検討分科会への回答の中に含めたとの返事があった。
 - 2) 英国地質学会と本学会の共同プロジェクトとして計画した Arthur Holmes Meeting (Tsunami hazards and risks: using the geological record) に関連し，英国の日本大使館より，レセプションを日本大使館にて開催するとの連絡があり，会長の挨拶も求められた。

- 3) 経産省から地層処分についての意見募集に執行理事会内メールで意見交換し、応えた。
- 4) 長野での情報展開会式(9/11,9:15より)には会長が出席する。
- 5) アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム(後援)開会式の会長の臨席については、渡辺真人氏(ジオパーク支援委員会)に代理を依頼した。
- 6) 県の石について(斎藤)。中間報告を選定委員会に提出してもらう。
- 7) 地質地盤情報活用推進協議会地質地盤情報活用検討委員会の松浦委員より、同委員会の議事録(9回,10回)が届けられた。

2. 運営財政部会：総務委員会 (緒方)

<共催・後援依頼, 他団体の募集等>

1. 山田科学財団へ1件の推薦をしたが、残念ながら採択とはならなかった。
2. 福武財団より2016年度「瀬戸内海文化研究・活動支援助成」公募(締切9/1-10/1)→News, geo-flash, HPに掲載。
3. 原子力総合シンポジウム2015の終了報告:15講演, 参加者160名。

<その他>

1. 名古屋大学より, 10/01設立の宇宙地球環境研究所所属の教授の公募が寄せられた。
2. 連合より, 学協会長会議の開催:10月8日(木)15:00-17:00
3. 公益法人協会の内閣府受託による公益法人相談会に, 情報収集のため, 向山理事と橋辺が参加した。
4. 地学団体研究会より総会において以下の3件の声明を採択したことが連絡された。
 - ①使用済み核燃料の処分に関する情報公開の徹底を求め, 無謀な原子力発電所再稼働に強く抗議する
 - ②福島第一原発汚染水対策と廃炉に向けて地質・地下水の実態解明を求める
 - ③「安保関連法案(戦争法案)」の廃案を求め, 大学研究機関等における軍事研究に反対する

<会員>

1) 今月の入会者(7名)

正会員(6名):堀ノ内 央, 本田恵理, 渡辺勝美, 山口 覚, 歌川史哲, 八武崎寿史
正(学部割)会員(1名):木村理郎

2) 今月の退会者(正会員1名)

矢野さおり

3) 2015年5月末日会員数

賛助:28, 名誉:61, 正会員:3774(正会員:3577, 院割会員:183, 学部割会員:14)
合計3863(昨年比-49)

<会計>

・長野観光コンベンション協会より, 長野大会への助成金額(25万円)が決まった。

3. 広報部会：広報委員会(坂口・松田)

・9/3, 文科記者会および長野県庁会見場に対し, 長野大会のプレスリリースを行った。

4. 学術研究部会(ウォリス・竹内・中澤)

(1) 行事委員会(竹内)

1) 2015長野大会準備状況

・巡検は, 8コースすべて催行できることになった。

- ・海外からの参加者への対応.

招待者, シンポジウム参加者等は, 懇親会には招待する. 年会参加費は, 招待講演であることを踏まえ無料にする. 今回経験した国際シンポジウムの準備にかかわる問題点について世話人にメモを残してもらい, 次回以降の大会に生かすようにする. 招待者の現地案内係として学生アルバイトを雇用する.

学会を主宰する LOC が財政状況によって, ルールを変更してよいが, コンビナーやゲストスピーカーの負担が大きくなるよう, 最大限の配慮をする

- ・年会ポスターの地質図転用については, その出典についてデザイン会社に確認し, 関係方面に連絡を取り, 早急に解決するよう促す.

2) 2018 年大会は北海道大学で開催予定.

(2) 国際交流委員会 (ウォリス)

1) 台湾地質学会との学術交流協定の締結

- ・9/11 学術大会に台湾の地質学会会長をお招きしてMOUを交換することとした.

2) ロンドン地質学会との学術交流協定締結にご尽力いただいた同学会事務局長の Edmunnd Nickless 氏の退職にあたり, 会長からお祝い状を送付した.

(3) JIS, 標準担当 (中澤)

現在, 産総研の地層名データベースに, 「学術雑誌」カテゴリーを新設する手続きをしている. カテゴリーが新設され次第, 層序単元登録審査委員会にて, 学術雑誌で提唱された地層名等の登録作業を開始する.

(4) その他

5. 編集出版部会 (山路・海野・保柳)

(1) 地質学雑誌編集委員会 (山路編集委員長)

1) 編集状況報告 (8 月 31 日現在).

2015 年投稿論文 総数 50 編 [総説 2 (和文 2)・論説 26 (和文 24, 英文 2)・報告 7 (和文 5, 英文 2)・ノート 2 (和文 2)・口絵 5 (和文 4・英文 1)・巡検案内 8] (昨年比 -3)
査読中: 25

受理済み: 7 (うち巡検案内 1)

- ・121 巻 8 月号: 巡検案内書 (2, 3, 7 班) 掲載. 8/31 発送済み
- ・121 巻 9 月号: 通常号 (論説 2, 報告 1) 掲載. 入稿中

2) 長野大会巡検案内書について

- ・長野大会巡検案内書を, 1 班 (上高地) については, 8 月 27 日付けで受理. 巡検当日には受理原稿 (組版前) を事務局でプリントして配布予定. 雑誌へは 10 月号以降に掲載予定.

(2) アイランドアーク編集委員会 (海野)

1) 編集状況

Vol. 24 Issue3 (2015 年 9 月): 一般原稿 6 編, Island Arc Award 2015 recommendation (約 100 ページ予定)

2) オンライン投稿の状況

過去半年 (2015. 3. 1~2015. 8. 31) の投稿数 53 件. うち新規投稿 48 件.

3) その他

新規特集号 (11 月末頃投稿予定)

特集号タイトル「The mechanics and evolution of megathrust within accretionary complex (Special issue to honor Professor Gaku Kimura's contributions on Tectonics and structural geology)」

世話人：Arito Sakaguchi, Hiroko Kitajima, Katsushi Sato, Takeshi Tsuji, Jun Kameda

[2] (3) 企画出版委員会 (保柳)

1) 「海洋底調査の基本」の出版計画について：執筆・編集作業が遅れていた「海洋底調査の基本」につき、今年度末の出版を目処に編集作業を進めているとの報告が編集代表者の安間氏よりあった。出版にあたっての承認事項について審議の要請があった。

6. 社会貢献部会 (平田・杉田・廣木)

来年の「地質の日」の街中ジオ散歩は5/14に実施予定 (国会議事堂の石の見学)。午前と午後の2回に分けて行う予定。

7. ジオパーク支援委員会 (平田)

・地震火山子どもサマースクール実施報告

8/8-9に長野県伊那市で開催。参加者26人 (小学生9, 中学生10, 高校生7), スタッフ43人。実施の様子は新聞, ケーブルテレビ等で紹介された。

・第24回日本ジオパーク委員会 (9月4日) 報告

世界ジオパーク推薦申請について, 白山手取川ジオパークは見送り。

日本ジオパーク認定申請について, 栗駒山麓, Mine 秋吉台, 三島村・鬼界カルデラを認定。この結果, 日本ジオパークは39地域 (世界認定7地域を含む) となる。

8. 地学オリンピック支援委員会 (平田)

・9/1より, 2016年度第8回日本地学オリンピックの申し込み開始 (締切11/15)。

・2015年第9回国際地学オリンピックブラジル大会は, 日本代表が4月からの通信研修と8月の合宿研修 (つくば) とを終えて出発準備段階。

・2016年第10回国際地学オリンピック三重大会の準備状況。

組織委員会 (第2回) を8/17に開催。募金額が2400万円に達したことにより, 来年8月の国際地学オリンピック (三重) が大幅な変更なく開催可能であることを確認。ただし発展途上国のより多くの参加を促すため, 募金活動を11月ごろまで引き続き実施する。募金者に対して, 挨拶状をブラジル大会後に, 団体・個人の皆様に発送するとともに, 大会準備進捗状況をメールにて発信する (月1回の予定)。三重大会が10回目の節目になることから, 参加高校生による三重宣言 (Our Future: Earth & Space) を大会最終日に採択する。

以上

2015年9月9日

一般社団法人日本地質学会執行理事会
会長 (代表理事) 井龍康文
署名人 執行理事 斎藤 眞